

総論：《あなたは狂犬病、破傷風ワクチン接種済み？》

助 教 荒 島 康 友

日本大学医学部病態病理学系臨床検査医学分野

東日本大震災に関連し被害に遭われた方、お亡くなりになった皆様に謹んで御見舞い申し上げます。気象庁は、今後、半年程度は M8 クラスの余震が、東北～関東地方の太平洋沿岸や沖合で起こる可能性が残っていると説明している¹⁾。これは、再度、直近～近い将来に東日本大震災に匹敵する災害が日本を襲う可能性を示唆したものである。

今回の災害に対し、Zoonosis の事前・事後の対策を記載する。是非、災害が起こる前に対策を実施して頂きたい。災害に関連する Zoonosis には、破傷風、レプトスピラ症、サルモネラ症、ペスト、ツツガムシ病、ノミ・ダニ咬傷、咬搔傷感染等が挙げできる。今回は災害以前 (表 2.3 の事前) の具体的対策も掲載した。再災害が想定されている住民、だけでなく、全国民を対象に、事前対策を実施して頂くことで、災害時における Zoonosis の発生が抑制される。それが実現できれば、Zoonosis 研究者にとりて幸甚である。

1. 災害と Zoonosis との関連性：災害と Zoonosis との関連性を確認するために、はじめに、災害の概略²⁾を確認し、次に、災害と Zoonosis の関連について触れて行く。

災害時前提 医療設備、医薬品等が絶対的に不足の状況であると考えておくべきである！

1. 災害と感染症 (表 1)：災害のなかの感染症領域は、感染症による災害と、災害による二次的な感染症の 2 つに分類される。医療資源の不足により、診断も臨床診断によることが多いと考えられる。

2. 災害時の感染症対策 (表 2)：災害時の感染症対策には、外傷の感染対策、環境の変化による感染対策、患者から医療従事者への感染対策の 3 つがある。

災害時には、医療資源に限界があり、日常診療同様の処置、治療はできない。そこで、人用の既存のワクチン接種などの事前対策により、被災者本人を守り、医療資源の削減にも寄与することができる。インフルエンザ、肺炎球菌による肺炎は、Zoonosis ではないが、これらのワクチンを接種しておくことで、被災者本人はもちろん、他の被災者への感染を予防できることから、ワクチン接種が重要と思われる。

実際、今回の災害でもボランティアががれき撤去中の傷から破傷風が感染した事例が確認され、事前ワクチン接種の必要性が協調されている³⁾。

3. 災害時の動物同行避難と感染症の対策：平成 12 年に板橋区獣医師会と板橋区は、災害時動物救護の一環として、「災害時の動物同行避難」を行うこととなっている。しかし、その場合、人と動物との間で問題となる点が存在する。そこで、災害時の動物同行避難の際の、問題点と Zoonosis について、事前・事後の対策を表 3 にまとめた。こうしてみると、災害時の動物同行避難の際、事前の対策は可能であり、事後はほとんど不可能に近いと考えられる。

同行避難時前提 飼育者が元気で、はじめて同行避難が可能となる！ 事前に人用ワクチン接種を！

表1 災害と感染症の原因と感染症名

	原因	感染症
1. 感染による災害	感染症自体が災害を起こす。	インフルエンザ、鳥インフルエンザ、 <u>ペスト</u> 、エボラ出血熱、重症急性呼吸器症候群（SARS）、その他の疫病、バイオテロなど。
2. 災害による二次的な感染症	災害による、環境変化 衛生状態悪化	《 小児、高齢者が影響を受けやすい 》 感冒、インフルエンザ、結核、肺炎球菌性肺炎、 <u>破傷風</u> 、 <u>レプトスピラ症</u> 、 <u>ツツガムシ病</u> 、食中毒(水,食料,サニテーションが重要)等。

表2 災害時の感染症の事前・事後の対策

1. 感染様式 2.	感染症の対策	
	事前	事後
1.外傷	<u>破傷風トキソイド接種</u>	災害発症直後～5日±2日間に多い。 受傷部位の感染予防、治療は非常に重要！ 汚染創を感染させぬよう創部の徹底的洗浄とデブリードマン
2.環境変化に伴う 空気・飛沫・糞口・ 経皮・経口感染	<u>犬用レプトスピラワクチン接種</u> (<u>人用は自衛隊用の生産*</u>)	災害発症後5日±2日から次第に増加し、2、3週でピークとなることが多い。 医療資源が乏しいか、無い状況での対症療法が中心！?
3.患者から医療従事者へ		スタンダードプレコーション（標準予防策）

*：我々は、災害時用の一般人用レプトスピラワクチンの増産の提案をしている！

表3 災害時の動物同行避難の問題点と Zoonosis の対策

	対策	
	事前	事後
1.被毛の手入れ	可能	比較的可能
2.ムダ吠え	可能（訓練所で躡ける）	不可能：躡に時間が掛かる
3.ノミ・ダニ咬傷	可能（定期検査・駆除）	不可能傾向：駆除薬不足の可能性が高く、速効困難 人の不眠、ストレスの原因となる
4.レプトスピラワクチン	可能（犬用ワクチン）	不可能傾向：医薬品不足の可能性が高く、速効困難

II. 災害時（地震、津波、台風による洪水等）に注意すべき人獣共通感染症

今回の未曾有の大災害で津波による水害により上水、下水、汚水槽、排水路も全て巻き込まれ汚泥の大量堆積、汚水の停滞が被災各地でみられた。このような状況下で第一に考えるべき人獣共通感染症は、土壌を介するもので、レプトスピラ症、破傷風、ツツガムシ病、Q熱、等が列挙できる。

結語：飼育者・ペットに、事前のワクチン接種と健康管理を！

- 1) 東日本大震災：M7以上の余震確率15% 24日以降、毎日 jp(毎日新聞社)、
mainichi.jp/select/weathernews/news/20110422k0000m040062000c.html
- 2) 小川 太志、災害医療における感染症対策、アボット感染症アワー 2005.7.1.
<http://medical.radionikkei.jp/abbott/final/pdf/050701.pdf#search='小川太志%20災害医療>
- 3) <東日本大震災>破傷風対策徹底を がれき撤去のけが注意、毎日 jp(毎日新聞社)、
<http://mainichi.jp/select/science/news/20110405k0000m040129000c.html>

助教 荒島 康友 医療現場で人と動物を Help する世界初の Zoonosis 獣医師！

日本大学医学部 臨床検査医学系臨床検査医学分野
医学研究支援部門ラボラトリーアニマル系科長補佐
〒173-8610 板橋区大谷口 30-1 Tel.03 (3972) 8111 内線 8370 Fax.03(3957) 7757

日本感染症学会 評議委員 / 平成6年度 二木賞受賞

日本感染症学会 認定インフェクション・コントロール・ドクター

(社) 東京都家庭動物愛護協会 理事

Zoonosis 協会(<http://zoonosis.jp>) 副理事長

日本比較臨床医学会 理事、日本臨床検査医学会

神奈川県動物由来感染症対策委員会委員

元 東京都獣医師会感染症予防検討協議会委員

元 人と動物の共通感染症研究会 役員

千葉科学大学・非常勤講師

【研究対象】 Noblesse oblige !

Zoonosis (人獣共通感染症: Q 熱、パスツレラ症、他)

サプリメント (免疫増強、腸内環境強化、体質改善、健康長寿、抗うつ: クアオルト <http://vienvert.net>)

特許出願中 又は、<http://www86.dns.ne.jp/~kurort/>)

波動法/ 幸福論/ 危機管理/ エコ・省エネ/食料危機

Key words : クアオルト、ユーチューブ 3586-3275

【趣味】 スキンダイビング/ スキー/ 書道/ 墨絵/ 零余子

【ペット】 イヌ、ネコ、金魚、植木

【著書】 (一生懸命書きました！良かったら読んでください！)

★『大塚薬報』(Zoonosis を 2011～執筆・編集・連載中)

1.荒島康友：ペット溺愛が生む病、講談社・ブルーバックス、2002.

2.高山直秀，他：ペットとあなたの健康、メディカ出版（大阪）、1999.

3.岡部信彦．他：動物由来感染症、新健康教育シリーズ（株）少年写真新聞社、2003.

4. 神山恒夫，他：動物由来感染症 その診断と対策、真興交易（株）（東京）、2003.

5. 荒島康友:<細菌感染>非常事態宣言、青春出版、1996.

6. 荒島康友：パスツレラ症：症例紹介、

厚生労働省”動物由来感染症を知っていますか？” <http://www.hdkkk.net/cases/past0101.html>

7.NPO 先端医療福祉開発研究会：小さな努力の積み重ねでNPOは生きている(株)アグネス承風社、2009.

荒島康友日本大学研究者情報：<http://kenkyu-web.cin.nihon-u.ac.jp/Profiles/KA/0005068/profile.html>

*講演依頼はこちらへ → 090-3696-1248

